

平成28年度 事業報告書

大阪府立大学 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業

Research Center
for the Diversity
Research Environment



平成29年3月

大阪府立大学 21世紀科学研究機構
ダイバーシティ研究環境研究所



スキルアップと キャリアアップを一步步

大阪府立大学 理事長・学長 辻 洋

本学では、平成22年に「大阪府立大学における多様な人材活用推進の基本方針」(p. v 参照)を定め、「ダイバーシティ(多様性)研究環境」のイメージを、次のように表現しています。

本学が目指す大学像の実現には「多様」「融合」「国際」という3つのキーワードがある。革新的な知を創出する拠点となるためには、年齢・性別・国籍の違いを超えて、異なる価値観や経験・背景をもつ「多様」な人材が集い、互いに知的触発を受ける環境が不可欠である。そのうえで多様な人材が切磋琢磨し価値を「融合」することで新しい知を創生し、そして「世界」に発信する。

3つの視点の一つである多様性については、大学の構成員である教員・職員・学生に対して、子育て世代(男女)、女性、若手、障がい者、外国人、SOGI*それぞれにどのような配慮ができるかのマップを作成し、一步步計画的に支援を行っています。

例えば、子育て支援として「つばさ保育園」を設置し、若手研究者支援として「テニユアトラック制度」を整備しました。学生については、障がい学生支援ガイドラインを既に制定しており、SOGIの多様性と学生生活に関わるガイドラインを4月にも制定する予定です。また、留学生向け宿舎を整備し、日本語が不慣れな方とのコミュニケーションを図るための大学英語用語辞書を開発しています。これらのことは、大学が組織として成熟していくためにも、ひいては学外から信頼されるにも欠かせないものです。

このような「ダイバーシティ(多様性)研究環境」の実現こそが、本学に限らず今後の教育研究の活力の源泉であると認識し、多様な個性を持つ研究者が、それぞれの能力を最大限に発揮できるようなシステム構築が重要だと考えています。

この中核に、女性研究者支援があります。大阪府立大学では、女性研究者が活躍できるよう、平成22年度から女性研究者支援センターを中心に、女性研究者支援を推進してきました。これに加えて、平成27年度には、文部科学省・科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択されたことを契機に、21世紀科学研究機構にダイバーシティ研究環境研究所を立ち上げ、女性研究者のスキルアップとキャリアアップを行うための支援を行っています。

大阪府立大学の女性研究者が1人でも多く、世界に翔き(はばたき)活躍できるよう、今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

※ SOGI:「誰にでも性的指向・性自認がある」という考えを示す、性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)の頭文字を合わせた呼称。



全学的な理解と協力のもと 着実に進む女性研究者支援

大阪府立大学 理事(教育研究担当)・副学長 石井 実

大阪府立大学は、平成 27 年度に文部科学省・科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択され、「女性研究者の研究力向上」と「上位職への両立支援」に焦点を当てて、本学の女性研究者支援の向上に努めています。

その中で、本学では教員の女性比率に関する 4 つの数値目標として、新規採用における女性教員比率 30%、平成 32 年度末における女性教員比率 21%、女性教授ゼロの部局ゼロ、上位職（教授・准教授・講師）における女性比率 23%をかかげています。これらの目標を全学で力を合わせて達成するために、今年度（平成 28 年度）より、すべての研究科（工学・生命環境科学・理学系・経済学・人間社会システム科学・看護学・総合リハビリテーション学の 7 研究科）と全学の共通教育を担う高等教育推進機構に、各部局における女性教員の採用・昇任・在籍比率についての人事計画と研究環境整備計画を立ててもらふことにしました。この計画がどこまで実行されたかについては来年度（平成 29 年度）初めに確認して、上位となった 3 部局に「女性研究者環境整備費」を給付する予定ですが、早速、成果も出始めています。

最も大きな成果は、女性に限定した教員公募の実施です。今年度は生命環境科学研究科と工学研究科において女性限定公募が行われ、平成 29 年度に 1 名、平成 30 年度に 1 名の女性教員が着任する予定です。これは各研究科の主体的な判断によるものですが、特に女性教員比率が低い分野で実施されているのが特徴です。この傾向が継続することを期待しています。

言うまでもなく、本学の組織としての成長には構成メンバーの多様性とバランスが重要であり、男性ばかりでなく女性も適材適所で配置されていなければなりません。それによって組織全体が活性化され、本学のプレゼンスも向上していくのではないかと思います。多様性（ダイバーシティ）を認め合う環境を整えることで、女性研究者を含む多様な人材が育ち、多少のことではへこたれないバランスのよい大阪府立大学となっていくと考えています。これからも、女性研究者の活躍を支え、促進する教育・研究環境の整備に努めてまいります。引き続き、皆様方のご理解とご協力をお願いします。



事業総括 —起動から軌道へ—

大阪府立大学 21世紀科学研究機構
ダイバーシティ研究環境研究所長

真嶋由貴恵

本学のダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業（事業期間平成27年度～32年度）では2つの大きな目的を掲げています。

一つは、女性研究者の在籍比率の増加（女性教授がいない部局をなくすことを含む）であり、石井理事・副学長を委員長とする人事委員会のリーダーシップのもと、全研究科と高等教育推進機構に対して、人事計画と環境整備計画の策定をお願いしました。部局ごとに現状と課題を把握した上で、女性研究者比率の増加に寄与した計画が立てられました。その成果については、来年度（平成29年度）初めに確認して、上位3部局に対して、大学自主経費によるインセンティブ「女性研究者研究環境整備費」を付与する予定となっています。

もう一つの目的は、女性研究者が研究リーダーや上位職として必要な研究力向上を支援することです。本事業を推進する、ダイバーシティ研究環境研究所（以下、「研究所」という。）が実施する研究力向上支援は、以下、Ⅰ．研究環境基盤整備、Ⅱ．スキルアップセミナー、Ⅲ．RESPECT[※]（研究実践力強化支援プログラム）の3種類があります。

事業を“起動”した27年度に続き、28年度は“軌道”にのせることを目的にして行った事業について、総括します。

Ⅰ．ダイバーシティ研究環境基盤整備

女性教員の研究ニーズへの充足を支援し、自律して研究を推進できる環境を整備することを目的としています。そのためにまず、女性教員へのヒアリングを実施しました。このヒアリングは研究所コーディネーターと、ダイバーシティ事業担当 URA（本学の地域連携研究機構 URA センターと連携）3名で担当しました。対象者は、平成28年度に本学に着任した准教授以下の女性研究者、および在籍中の准教授以下の女性研究者計10名でした。これにより、これまで URA による支援が比較的行われていた理系部局でも個別の担当者がいなかった女性研究者や、キャンパスが離れている医療系研究科（看護学・総合リハビリテーション学）、および文系部局等の女性研究者の具体的で特徴的なニーズを聴くことができ、より丁寧な個別支援へとつながったように思います。また、ヒアリングの際には、本事業の紹介とともに、Ⅱ．スキルアップセミナーや、Ⅲ．RESPECT への参加を促すことができ、事業への理解やセミナー等への参加率向上につながったと考えています。

次に、個々の研究活動状況を自己診断できるような支援を目的にしたパーソナル・ポートフォリオを開発・運用しました。これにより、従来の教員業績評価システムを

活かして、将来的なライフプランも見据えた研究計画、および自身のキャリアパス設計を可能にする礎を築くことができました。

さらに、平成 27 年度に残された課題であったメンター配置についても、研究支援員制度を利用している女性研究者に積極的に働きかけることにより、メンティ 22 名にメンターを配置することができました。これにより、これまで、特に女性が少ない部局では孤立しがちであった女性研究者が、個々様々な悩みを抱えた時に自律性・自発性を発揮できるように見守り、時には新たな視座を与えられるような支援を行える体制を整えることができました。

II. スキルアップ支援プログラム

スキルアップセミナーは、外部資金獲得、英語論文作成、マネジメント、プレゼンテーション力向上の 4 種類あり、計 7 回開催し、のべ 114 人の参加がありました。2 種類以上のセミナーに参加することにより、下記 III. RESPECT への申請資格を得ることができます。なお、スキルアップセミナーのうち外部資金獲得セミナーと英語論文作成セミナーでは、希望者には個別校閲・校正を行っており、これものべ 34 人が利用されました。プレゼンテーション力向上セミナーは、英語によるプレゼンテーション力向上を目指し、中百舌鳥・羽曳野・りんくうの各キャンパスで実施しました。また、マネジメントセミナーでは、研究室や共同研究チームなどの組織におけるマネジメント力やサポート力の向上を目指し、グループワークも行いました。実施後に行ったアンケートでは参加者から有益な意見が得られており、これらの意見を参考に、今後、本学の女性研究者のニーズに合ったより効果的なものとなるよう改善していきたいと考えています。

III. RESPECT (研究実践力強化支援プログラム)

RESPECT はスキルアップセミナーの上位研修プログラムとして位置づけています。本学の女性研究者に競争的インセンティブとして各種の支援を行うことによって、女性研究者が研究グループのリーダーとなる活動を促進することを目的としています。第 1 回目の募集には 6 件の申請がありました。

審査委員会は石井理事・副学長を審査委員長として、審査委員を女性研究者支援事業運営委員会から選出して構成しました。審査は、各申請者からのプレゼンテーションによる学内公開で実施しました。その結果、3 件を採択しました（うち 2 件は大学自主経費による）。

また RESPECT とは別に平成 28 年度から、大学自主経費による研究費インセンティブとして「女性研究者支援事業」が実施されました。このことから、本学の女性研究者の支援が補助金事業にとどまらず、本学全体として意識の向上がなされ、充実してきたことが伺えます。

以上、平成 28 年度の事業計画は、おおよそすべて達成できました。平成 29 年度には、プロジェクト期間の中間総括としてシンポジウムを開催する予定です。今後も引き続き、本学の女性研究者の活躍の場を拡げることができるよう努めてまいります。

※ RESPECT : Research Support Program for Enhancing Capability and Technique

大阪府立大学における 多様な人材活用推進の基本方針

大阪府立大学が公立大学としての存在意義を高め、地域に信頼される存在となるためには、地域社会や産業界を牽引する人材が本学から持続的に巣立ち、広く世界に翔く（はばたく）ことでその証を立てなければならない。それらを追求するため、日本のみならず世界の研究型大学の変革の起点となり、地域に信頼される知の拠点となるべき基本理念を表す言葉として、「高度研究型大学 ～世界に翔く地域の信頼拠点」を掲げている。

本学が目指す大学像の実現には「多様」「融合」「国際」という3つのキーワードがある。革新的な知を創出する拠点となるためには、年齢・性別・国籍の違いを超えて、異なる価値観や経験・背景をもつ「多様」な人材が集い、互いに知的触発を受ける環境が不可欠である。そのうえで多様な人材が切磋琢磨し価値を「融合」することで新しい知を創生し、そして「世界」に発信する。

したがって本学は、多様性の実現こそが今後の教育研究の活力の源泉であるとの認識の下、若手研究者や外国人研究者、女性研究者がそれぞれの能力を最大限に発揮できるよう、本学構成員の意識改革、環境の整備、支援相談システムの構築などを推進する。そして、活力あふれる「知」の創造の場を形成し、本学の理念を実現する。

..... 平成 28 年度 事業報告書 目次

スキルアップとキャリアアップを一步ずつ
..... 大阪府立大学 理事長・学長 辻 洋 i

全学的な理解と協力のもと着実に進む女性研究者支援
..... 大阪府立大学 理事(教育研究担当)・副学長 石井 実 ii

事業総括—起動から軌道へ—
..... 大阪府立大学 21世紀科学研究機構
ダイバーシティ研究環境研究所長 真嶋由貴恵 iii

大阪府立大学における多様な人材活用推進の基本方針 v

I. 事業概要と今年度の計画 1

 1. 事業概要 2

 2. 今年度の実施計画 7

II. 事業実施報告 9

 I. ダイバーシティ研究環境基盤整備 10

 II. スキルアップ支援プログラム 23

 III. RESPECT (研究実践力強化支援プログラム) 32

 その他 35



I. 事業概要と今年度の計画

1. 事業概要

実施予定期間：平成 27 年度～平成 32 年度

総括責任者：辻 洋（公立大学法人大阪府立大学 理事長）

（1）事業の目的

異分野融合・共同研究の女性研究リーダーへの支援、女性上位職の両立支援など、産学官連携に強みを持つ本学の女性研究リーダー育成のための取組を推進する。

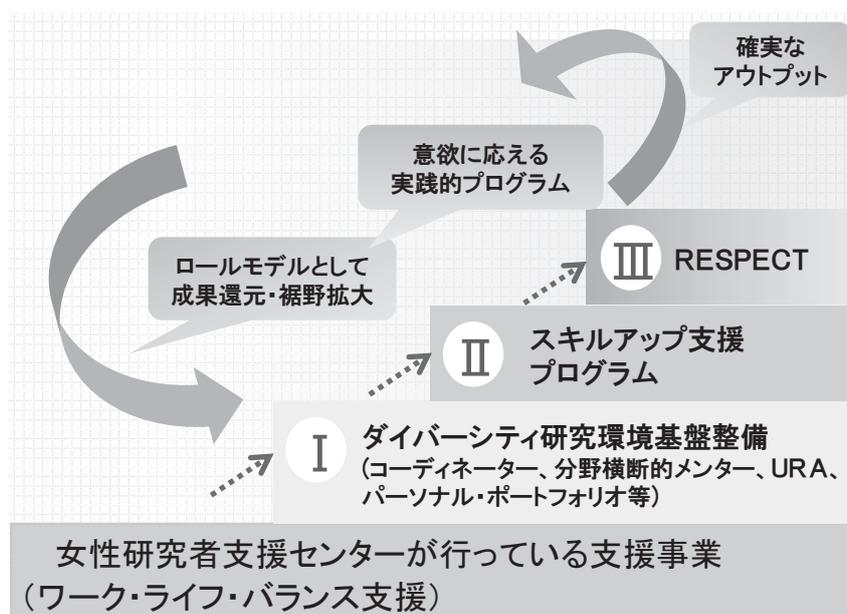
（2）目標と行動計画

第 3 期（平成 29 ～ 34 年度）中期計画と中期目標に目標・行動計画を位置づける。

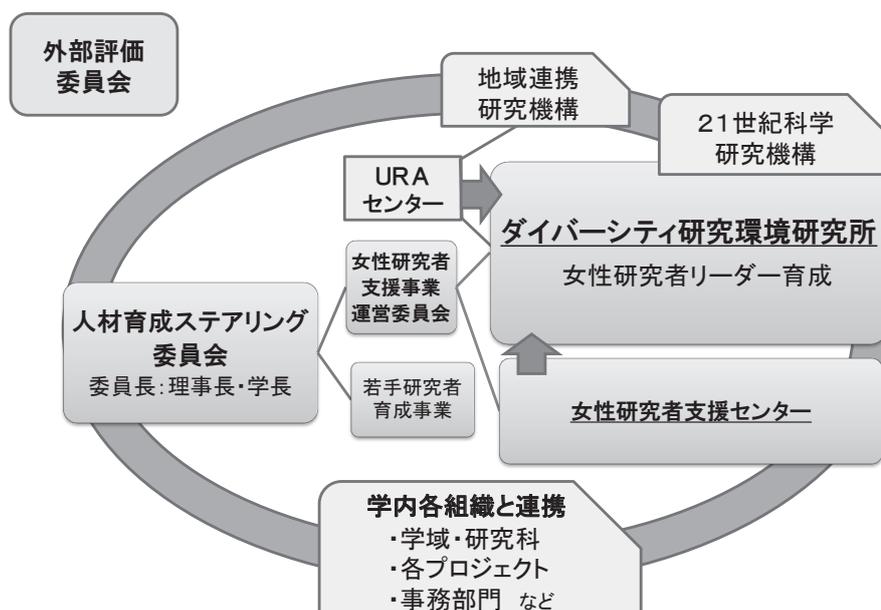
- 平成 28 年度以後、新規採用における女性教員比率 30%
- 平成 32 年度に、女性教員比率 21%
- 女性教授ゼロの部局ゼロ
- 上位職（教授・准教授・講師）における女性比率 23%
- 上位職（副学長・理事・学長補佐）における女性比率 25%

（3）取組の概要

- 学内にダイバーシティ研究環境研究所を設立し、女性研究リーダーの育成と上位職に就くための支援を行う。
- 女性比率の数値目標達成のための計画を部局ごとに取り組み、高成果の部局にインセンティブを付与して支援する。
- 若手女性研究者の支援として、パーソナル・ポートフォリオ（上位職へのロードマップを含む）の活用と研究力強化プログラムを実施する。



(4) 実施体制



外部評価委員会 委員名簿 (平成 29 年 3 月現在)

*委員長

氏名	所属・役職
相馬 芳枝*	国立研究開発法人産業技術総合研究所・名誉リサーチャー
工藤 真由美	国立大学法人大阪大学・理事・副学長
時岡 禎一郎	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団・評議員
黒田 一未	堺市市民人権局 男女共同参画推進課長
花嶋 温子	大阪産業大学 人間環境学部生活環境学科・講師

科学技術人材育成ステアリング委員会 委員名簿 (平成 29 年 3 月現在)

*委員長

氏名	職名 (担当部局)
辻 洋*	理事長・学長
石井 実	理事 (教育研究担当)、副学長 (教育研究担当)、21 世紀科学研究機構長
神谷 雅之	理事 (総務調整担当)
今井 良彦	理事 (広報渉外担当、地域連携担当)、地域連携研究機構長、学術情報センター長

氏名	職名(担当部局)
藤原 徳一	理事(府大高専担当)
前川 寛和	副学長(教育担当)、高等教育推進機構長
吉田 敦彦	副学長(学生担当、国際交流担当)、学生センター長、国際交流推進機構長
大塚 耕司	現代システム科学域長
山下 勝己	工学域長
大木 理	生命環境科学域長
奥田 邦晴	地域保健学域長
辰巳砂 昌弘	工学研究科長
増田 昇	生命環境科学研究科長
入江 幸右衛門	理学系研究科長
近藤 真司	経済学研究科長
牧岡 省吾	人間社会システム科学研究科長
上野 昌江	看護学研究科長
高畑 進一	総合リハビリテーション学研究科長
石田 武和	プログラムオフィサー(地域の大学からナノ科学・材料人材育成拠点)
松井 利之	プログラムオフィサー(産業牽引型ドクター育成プログラム、地域・産業牽引型研究リーダー養成プログラム、地域産学官連携型持続的イノベーション・エコシステム拠点)
真嶋 由貴恵	プログラムオフィサー(女性研究者支援プログラム)

女性研究者支援事業運営委員会 委員名簿（平成29年3月現在）

氏名	部局(職名)	担当
真嶋 由貴恵	人間社会システム科学研究科・工学研究科(教授)	<ul style="list-style-type: none"> 研究所所長 運営委員会委員長として、事業全体の統括と進捗管理
森澤 和子	工学研究科(教授)	<ul style="list-style-type: none"> 研究所副所長 運営委員会副委員長・女性研究者支援センター長として、支援情報の共有と全体統括補佐
石田 武和	工学研究科(教授) 「地域の大学からナノ科学・材料人材育成拠点」プログラムオフィサー	<ul style="list-style-type: none"> 研究力向上のためのプログラム実施と評価 テニユア・トラック制度との連携
小笠原 紀行	工学研究科(助教)	<ul style="list-style-type: none"> 研究力向上のためのプログラム実施と評価
三宅 眞実	生命環境科学研究科(教授)	<ul style="list-style-type: none"> 研究力向上のためのプログラム実施と評価
田島 朋子	生命環境科学研究科(准教授)	<ul style="list-style-type: none"> 理系・医療系女子人材の発掘とキャリア支援 理系女子大学院生チーム IRIS や IRIS OG との連携
山口 夕	生命環境科学研究科(准教授)	<ul style="list-style-type: none"> 公立大学としての地域連携力の活用と異分野融合研究の促進
細越 裕子	理学系研究科(教授)	<ul style="list-style-type: none"> 公立大学としての地域連携力の活用と異分野融合研究の促進
竹田 恵美	理学系研究科(准教授)	<ul style="list-style-type: none"> 研究力向上のためのプログラム実施と評価
岡田 光代	経済学研究科(准教授)	<ul style="list-style-type: none"> 研究力向上のためのプログラム実施と評価
村田 京子	人間社会システム科学研究科(教授) 女性学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> 研究力向上のためのプログラム実施と評価
遠藤 崇浩	人間社会システム科学研究科(准教授)	<ul style="list-style-type: none"> 公立大学としての地域連携力の活用と異分野融合研究の促進
中山 美由紀	看護学研究科(教授)	<ul style="list-style-type: none"> 研究力向上のためのプログラム実施と評価
大関 知子	総合リハビリテーション学研究科(教授)	<ul style="list-style-type: none"> 理系・医療系女子人材の発掘とキャリア支援 理系女子大学院生チーム IRIS や IRIS OG との連携
西村 浩一	総務部人事課(課長)	<ul style="list-style-type: none"> 研究支援員

事務局（平成 29 年 3 月現在）

氏 名	部 門	役 職
船 野 智加枝	総務部 総合企画課	企画調整監 兼 総合企画課長
千 田 豊	総務部 総合企画課 統合準備室	室長・参事
網 城 正 徳	総務部 総合企画課 統合準備室	課長補佐
伊 熊 恭 子	総務部 総合企画課 統合準備室	主査
玉 城 舞	総務部 総合企画課 統合準備室	副主査
巽 真理子	ダイバーシティ研究環境研究所	コーディネーター
白 石 恵 美	ダイバーシティ研究環境研究所	事務職員
中 野 恭 子	ダイバーシティ研究環境研究所	事務職員
森 元 敏 恵	ダイバーシティ研究環境研究所	事務職員

2. 今年度の実施計画

(1) 女性教員・研究者数、比率の増加のための取組と実施体制の構築

- 人事委員会による数値目標設定項目（新規採用における女性比率の維持、女性教員比率・上位職（教授・准教授・講師）における女性比率・上位職（副学長・理事・学長補佐）における女性比率の向上、女性教授のいない部局ゼロ）に基づいた、各部局の女性研究者採用比率を確保する人事計画に対し、成果の高い部局に女性研究者研究環境整備費を配分する。
- ダイバーシティ研究環境研究所（コーディネーター1人・事務補助職員3人・本事業担当URA1人を配置）を、人材育成ステアリング委員会の統括のもと、全学委員会である女性研究者支援事業運営委員会が運営する。女性上位職への両立支援や、女性研究者（博士研究員・特認教員も含む）への両立・復帰支援を行う。
- 外部評価委員会（委員長を含め5人）を開催し、今後の事業実施のためのアドバイスをいただく。

(2) ダイバーシティ研究環境研究所による女性研究者の研究力強化の取組

- 意識啓発のため、ダイバーシティ推進セミナーを開催する。
- コーディネーターを中心に、女性研究者の研究力強化のため、下記Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを実施する。
- 年度末に報告書を作成して学内外の関係者に配布する。

Ⅰ. ダイバーシティ研究環境基盤整備

女性若手研究者（助教および新規採用准教授以下）に対して、分野横断的に女性メンターをつける。コーディネーターとメンター、URAが連携し、研究者のパーソナル・ポートフォリオ（昇任に向けてのロードマップを含む）を作成し、研究力向上の支援を行う。また、コーディネーターはパーソナル・ポートフォリオを研究環境整備と上位職登用に資するよう分析し活用するためのデータ整備を行う。

Ⅱ. スキルアップ支援プログラム

女性研究者を対象として、スキル向上に資するプログラム（下記①～④）の第2回を実施する。新規採用の若手女性研究者は必修とする。

①外部資金獲得セミナー・ワークショップ

科研費、CREST、さががけや、企業等からの研究費獲得のためのスキルアップを目指す。外部資金獲得の経験豊富な講師による講演に加えて、参加者への個別相談会や申請書類の校閲サポートを行う。

②英語論文作成セミナー・ワークショップ

研究成果を海外へ発信する力をつけることを目指す。少人数のワークショップや英語論文の校閲費サポートを行う。

③プレゼンテーション力向上セミナー・ワークショップ

研究のあらゆる状況で必須となるプレゼンテーション力、および後続研究者育成を担うために必須となる教育力の向上のため、マイクロティーチングなどのセミナーとワークショップを行う。

④マネジメントセミナー・ワークショップ

大型外部資金等の研究チームのリーダーや研究室・部局を運営する上位職の養成を目指し、マネジメント（研究倫理・危機管理を含む）についてのセミナーを開催する。

Ⅲ. RESPECT（研究実践力強化支援プログラム Research Support Program for Enhancing Capability and Techniques）

女性研究リーダーの育成のため、スキルアップ支援プログラムの上位研修プログラムとして RESPECT を実践する。女性研究者がリーダーシップを発揮し、研究グループを形成して研究活動を推進する取組に対して、インセンティブを付与することで、研究の加速を支援する。インセンティブを付与する者は、公開審査会にて選出する。

（3）異分野研究領域を融合した研究の促進

- 異分野融合研究への女性研究者の参画を活性化させるため、女性が代表者の場合に研究とライフイベントを両立させるためのインセンティブ制度（研究支援員の配置）を実施する。
- アントレプレナーシップ（文部科学省：科学技術駆動型イノベーション創出プレイヤー養成プログラム（FLEDGE）として平成 26 年度採択）と連携し、海外プレゼンテーション研修を実施する。
- ダイバーシティ研究環境研究所を中心に、ダイバーシティ研究環境実現のため、教職員のワーク・ライフ・バランスの現状とニーズについての調査研究を検討する。

（4）理系女子人材の発掘とキャリア支援

- 校友会（同窓会）メーリングリストを通して、理系女性卒業生に学位取得や共同研究、セミナー・交流会への参加等、研究者としてのキャリア支援や交流を呼びかける。そのための相談をダイバーシティ研究環境研究所にて受付ける。
- 女性研究者支援センターの事業である理系女子院生チーム IRIS の OG 会を活用して、在籍の女子学生へのロールモデルとしての交流や、企業や研究機関との学生を交えた交流に取り組む。

（5）公立大学としての地域連携力の活用

- 公立大学として大阪府地域で女性研究者支援の先鞭をつけたことをふまえ、交流の深い公設試験研究機関や企業、他大学、団体等と連携し、意識啓発や交流会への参加、学位取得等を促し、研究力強化とキャリアパス支援の取組を発展させる。

（6）コーディネーターのキャリアパスへの配慮

- ダイバーシティ研究環境研究所のコーディネーターを、週 1 日を博士研究員として自主経費で雇用することにより、研究者としてのキャリアパスを支援する。

Ⅱ. 事業実施報告

I. ダイバーシティ研究環境基盤整備

1. 事業一覧（時系列）

年	月 日	内 容
平成28年	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> 研究支援員配置（上位職両立支援、ライフイベント復帰・両立支援） 復帰支援研究費の支給
	4月18日	第1回女性研究者支援事業ランチ・ミーティング開催
	4月～5月	部局別人事・環境整備計画制度の設計と各部局との調整
	5月11日	研究支援員審査会開催
	5月23日	第1回運営委員会開催
	5月27日	理事長より部局長へ、部局別人事・環境整備計画の作成を依頼
	6月～8月	ポートフォリオのパイロット調査準備：様式の見直しと対象者リスト作成、依頼方法の検討など
	6月1日～15日	部局長ヒアリング実施
	6月30日	各部局より、部局別人事・環境整備計画を提出
	7月1日	<ul style="list-style-type: none"> 研究支援員配置（ライフイベント復帰・両立支援） 復帰支援研究費の支給
	7月13日～29日	研究支援員派遣 追加申請募集
	7月20日～9月23日	女性教員への研究力向上にむけた個別ヒアリング
	7月20日	第2回女性研究者支援事業ランチ・ミーティング開催
	7月27日	外部評価委員会開催
	8月12日～10月12日	女性限定公募実施（生命環境科学研究科）
	8月17日・18日	研究支援員制度審査会開催
	9月16日	地域連携力ワーキング・グループ開催
	9月17日	第3回女性研究者支援事業ランチ・ミーティング開催
	9月30日	パーソナル・ポートフォリオ・パイロット調査開始
	10月1日	<ul style="list-style-type: none"> 研究支援員（上位職両立支援、ライフイベント復帰・両立支援）追加配置開始 復帰支援研究費の支給
	10月11日	第1回科学技術人材育成ステアリング委員会開催
	10月14日	メンター・ワーキング・グループ開催
	10月17日	第2回運営委員会開催
	11月1日	女性研究者支援メンター制度改正
	11月1日～12月21日	パーソナル・ポートフォリオ・パイロット調査結果まとめと修正
	11月7日	第4回女性研究者支援事業ランチ・ミーティング開催
	11月9日～12月16日	平成29年度 研究支援員 申請募集
	12月2日	ダイバーシティ推進セミナー兼マネジメント・セミナー開催
	12月8日	ダイバーシティ特別講演開催（学生課と共催）
	12月12日	第5回女性研究者支援事業ランチ・ミーティング開催

年	月 日	内 容
平成29年	1月12日・23日	平成29年度派遣分 研究支援員制度審査会開催
	1月31日	メンティ登録
	1月～3月	ロゴ入りバッグ納品・配布
	2月14日～4月14日	女性限定公募実施（工学研究科）
	2月28日	第6回女性研究者支援事業ランチ・ミーティング開催
	3月7日	第3回運営委員会開催
	3月21日	第2回科学技術人材育成ステアリング委員会開催
	3月24日	平成28年度事業報告書作成

2. 事業ごとのまとめ

(1) ダイバーシティ研究環境研究所の運営

本事業の実施部門として、ダイバーシティ研究環境研究所を運営し、事業の推進と進捗管理を行った（p.6 事務局名簿参照）。

(2) 外部評価委員会

- 平成28年7月27日（中百舌鳥キャンパス）（p.3 委員名簿参照）

平成27年度の事業評価のため委員会を開催し、評価を得た。

※総合評価 A（評価の詳細は pp.11-12 参照）

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」大阪府立大学外部評価委員会
平成27年度事業 評価用紙

お名前	外部評価委員会委員長 相馬芳枝
評価記入年月日	平成28年 8 月 5日

下記の太枠内に、ご記入ください。

- ・「評価」欄には、下記の評価基準によりご記入ください。

S	計画を上回って実施できている。
A	計画どおり実施できている。
B	計画どおり実施できていないが、一部順調な取り組みもみられる。
C	計画どおり実施できていない。

- ・「コメント」欄には、各項目についてのコメントがあれば、ご記入ください。

項目	評価	コメント
取組期間における女性研究者在職者数、在職比率、採用比率	S	予定を上回って女性研究者を2名採用できたのは立派である。採用者の職階は講師なので、S評価が妥当である。
(1) 女性教員・研究者数、比率の増加のための取組と実施体制の構築	B	ダイバーシティ研究環境研究所を創設し、研究支援員を17研究者に配置したことは評価できる。 ダイバーシティ研究環境整備費を配分する制度の設計が、27年度にできなかったことは残念であるが、熟慮の結果、各学部状況を十分に配慮した平等な制度になっていると思われる。今後、同制度が効果を発揮することを期待する。
(2) ダイバーシティ研究環境研究所による女性研究者の研究力強化の取組	S	スキルアップ支援プログラムが、羽曳野キャンパスにも目配りしてきめ細かく実施されていることは素晴らしい。女性の参加が遅れている上位職（理事、副学長、学長補佐）等に昇進するための取組（トップをめざす研修など）に取り組まれると、更に充実したものになるのではないかと。メンターは男性でもよく、余裕と希望があれば、上位職にもつけてもよいのではないかと。スキルアップ支援のモデルを構築していただきたい。

項目	評価	コメント
(3) 異分野研究領域を融合した研究の促進	S	<p>学内インセンティブ制度として、異分野研究シーズ発掘・連携促進・融合領域創成支援事業」の女性枠および「女性研究者支援事業」を新設することができたことは、個々の研究者のインセンティブを高めるうえで大いに意義がある。</p> <p>今後、これらの制度の効果を期待する。</p>
(4) 理系女子人材の発掘とキャリア支援	A	<p>日本の女性研究者比率が国際的に低ランクにあるのは、大学卒業生の多くが社会で才能を眠らせている実態の反映であろう。その意味で、校友会メーリングリストでキャリア支援や交流を呼びかけたのは意義があり、続けることによる成果が期待できる。</p> <p>府民や高校生の保護者にも、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの取り組みを伝えていただきたい。</p>
(5) 公立大学としての地域連携力の活用	A	<p>地域連携の観点からは、専門関係機関との協働だけでなく、一般府民、市民への啓発も必要ではないか。例えば、地域の男女共同参画（女性）センターとの協働事業によって、大学のPR効果とともに、女性の理系進学を動機づけるきっかけになるかもしれない。</p>
(6) コーディネーターのキャリアパスへの配慮	B	<p>今年度、実施できなかつたのは残念だが、よい内容だと思った。</p> <p>今後の成果を期待する。</p>
総合評価	A	<p>ダイバーシティ研究環境研究所による女性研究者の研究力強化の取組がきめ細かく実施されていることに敬服する。この事業を通じて、女性研究者数が増加すると同時に、女性が男性と同じ比率で上位職に昇進し、女性の理事、副学長、学長補佐が複数、誕生することを期待する。女性リーダー育成のモデルを確立していただきたい。</p> <p>引き続き、男性教職員（リーダー）のさらなる意識改革と、ロールモデルたる女性研究者の学内外への「見える化」を進めていただきたい。</p>

(3) 科学技術人材育成ステアリング委員会

本事業を全学的な取り組みとして進めるため、理事長を委員長とし、「地域の大学からナノ科学・材料人材育成拠点」、「産業牽引型ドクター育成プログラム」、「地域・産業牽引型研究リーダー養成プログラム」、「地域産学官連携型持続的イノベーション・エコシステム拠点」と共同で、「科学技術人材育成ステアリング委員会」を開催した（p.3-4 委員名簿参照）。

その他、必要に応じて、役員連絡会や部局長連絡会議などを通じて、また部局長ヒアリングなどで個別に、事業についての協力依頼・相談・報告等を行った。

①第1回（平成28年10月11日 中百舌鳥キャンパス）

▶平成28年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」進捗状況について

②第2回（平成29年3月21日 中百舌鳥キャンパス）

▶ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの平成28年度事業実績報告及び平成29年度計画について

▶平成29年度女性研究者支援事業運営委員会について

(4) 女性研究者支援事業運営委員会とワーキング・グループ

事業を円滑に進めるため、女性研究者支援センターと共同で、女性研究者支援事業運営委員会を開催した（p.5 委員名簿参照）。また、運営委員は担当ごとにワーキング・グループを編成して具体的な内容について話し合い、事業を推進した。

1) 運営委員会

①第1回（平成28年5月23日 中百舌鳥キャンパス）

▶運営委員紹介・役割分担について

▶平成27年度 研究支援員成果報告

▶平成28年度 研究支援員配置状況報告

▶平成28年度事業 進捗報告

▶RESPECTの採択結果について

▶外部評価委員の交代について

▶平成28年度事業予定案および予算案について

▶研究支援員の追加申請募集について

▶ダイバーシティ研究環境研究所 研究員について

②第2回（平成28年10月17日 中百舌鳥キャンパス）

▶平成28年度 研究支援員配置追加状況報告

▶ステアリング委員会（10月11日開催）報告

▶平成27年度事業 外部評価報告

▶平成28年度事業 中間報告

▶平成29年度 研究支援員派遣申請募集について

▶女性研究者支援メンター制度の改正案について

▶平成28年度 事業予定案および予算案について

- ▶平成 29 年度 女性研究者 研究実践力強化支援プログラム (RESPECT) 募集について

③第 3 回 (平成 29 年 3 月 7 日 中百舌鳥キャンパス)

- ▶平成 29 年度 運営委員ワーキング・グループと役割分担について
- ▶平成 29 年度 研究支援員配置予定報告
- ▶平成 28 年度事業 実績報告
- ▶平成 29 年度事業 事業計画および予算案について

2) ワーキング・グループ

①地域連携力ワーキング・グループ (平成 28 年 9 月 16 日開催)

- ▶他機関との女性研究者交流会について

②メンター・ワーキング・グループ (平成 28 年 10 月 14 日開催)

- ▶メンター登録者について
- ▶メンタリング・カフェについて
- ▶メンター制度の見直しと運用について

(5) 女性研究者支援事業ランチ・ミーティング

本事業および女性研究者支援事業を全学的に促進するため、2ヶ月に1回程度、教育研究担当の石井理事・副学長とランチ・ミーティングを行った。ミーティングでは本事業の進捗状況の報告などの情報共有の他、部局インセンティブ制度の構築や、そのための部局単位の人事計画、メンター制度改正などについても話し合った。

(6) 部局インセンティブ制度「女性研究者研究環境整備費制度」の実施

理事長より各部局長 (7 研究科長 (工学・生命環境科学・理学系・経済学・人間社会システム科学・看護学・総合リハビリテーション学) と高等教育推進機構長) へ、女性研究者採用比率や女性研究者の昇進などについての人事計画、および男性も含めたワーク・ライフ・バランスのための環境整備計画の策定を依頼。各部局長より平成 28 年 6 月末までに提出された。

平成 28 年度の実績をふまえ、平成 29 年度初めに、目標達成度の高い部局に「ダイバーシティ研究環境整備費」改め「女性研究者研究環境整備費」を、自主経費で付与する予定である。

平成 28 年 4 月～5 月 部局別人事・環境整備計画制度の設計と各部局との調整

5 月 27 日 理事長より部局長へ、部局別人事・環境整備計画の作成を依頼

6 月 1 日～15 日 部局長ヒアリング実施

6 月 30 日 各部局より、部局別人事・環境整備計画を提出

(7) 女性限定公募の実施

下記2件の教員公募を女性限定で実施した。

実施時期	研究科（専攻／分野）	募集職階	採用日付
平成28年8月12日～10月12日	生命環境科学研究科 （緑地環境科学専攻）	助教（テニュアトラック助教）	平成29年4月1日
平成29年2月14日～4月14日	工学研究科 （電子物理工学分野）	助教（テニュアトラック助教）	平成30年4月1日

(8) 研究支援員の配置

ライフイベント（妊娠・出産・育児・介護）によって研究時間の確保が難しい女性研究者に対して、下記のとおり、研究支援員を配置した。

〈平成28年度〉

1) 対 象

次の①～③の要件全てに該当する女性研究者

- ①大阪府立大学に雇用されている女性研究者（博士研究員を含む）
- ②妊娠・出産・育児（末子が小学校6年生以下）又は介護によって研究時間を制限される者
- ③下記のいずれかに該当する者

1. 上位職両立支援	職位が講師以上の専任教員（任期付教員を含む）。
2. ライフイベント復帰・両立支援	平成25年4月1日から現在までに、ライフイベントのため概ね3ヶ月以上やむを得ず研究活動を中断した博士研究員・特認教員および専任教員（任期付教員を含む）。

2) 募 集

第1回 平成27年12月10日～12月25日

第2回 平成28年4月1日～4月18日

第3回 平成28年7月13日～7月29日

3) 審査会

第1回 平成28年1月13日・18日・20日

第2回 平成28年5月11日

第3回 平成28年8月17日・18日

4) 配置状況（全キャンパス（中百舌鳥・羽曳野・りんくう）に配置）

研究科・機構	配置教員数	研究支援員数	配置時間数（週）
工学	5	15	94
生命環境科学	1	1	6
理学系	1	2	20
経済学	1	1	2
人間社会システム科学	2	3	16
看護学	9	11	64
総合リハビリテーション学	3	4	22
高等教育推進機構	0	0	0
21世紀科学研究機構	0	0	0
合 計	22	37	224

平均(1研究者あたり)10.2時間/週

〈平成 29 年度分〉

1) 対 象

次の①～③の要件全てに該当する女性研究者

- ①大阪府立大学に雇用されている女性研究者（博士研究員を含む）
- ②妊娠・出産・育児（末子が小学校6年生以下）又は介護によって研究時間を制限される者
- ③下記のいずれかに該当する者

1. 上位職両立支援	職位が講師以上の専任教員（任期付教員を含む）。
2. ライフイベント復帰・両立支援	博士研究員・特認教員および専任教員（任期付教員を含む）。

2) 募 集

平成 28 年 11 月 9 日～12 月 16 日

※平成 29 年 4 月 3 日～4 月 14 日にも募集予定

3) 審査会

平成 29 年 1 月 12 日・23 日

(9) 復帰支援研究費の支給

上記(8)で、平成 28 年度に研究支援員を配置した研究者のうち、「ライフイベント復帰・両立支援」の支援対象となった 8 名に対して、復帰支援研究費を支給した。

(10) 女性研究者の研究力向上にむけた個別ヒアリング

女性研究者の研究力向上にむけた個別支援の体制を整えるため、地域連携・研究支援課研究機構 URA センター（以下、「URA センター」という。）のダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業担当 URA（以下、「ダイバーシティ担当 URA」という。）と、ダイバーシティ研究環境研究所長およびコーディネーターの 3 名で、10 名の女性教員に対してヒアリングを行い、女性研究者のニーズや URA・センター等の支援内容及び必要性についての確認を行った。

ヒアリングの結果、研究支援が必要な教員にはダイバーシティ研から研究支援員の利用申請を勧め、

共同研究を希望する教員には、URA が企業とのマッチング・イベントの参加案内を行うなど、各教員のニーズに合わせた個別支援体制を整えることができた。

(11) パーソナル・ポートフォリオの作成と実施

パーソナル・ポートフォリオ案を作成し、平成 28 年度 RESPECT 採択者（3 名）と運営委員（8 名）を対象にパイロット調査を行った。パイロット調査の結果を踏まえて改良を行い、平成 29 年 3 月より研究支援員を配置している女性教員を対象に使用を開始した。

(12) 女性研究者支援メンター制度

女性研究者支援メンター制度の活性化を図るため、平成 28 年 11 月 1 日に、研究支援員を配置している女性教員（准教授以下・テニュアトラック教員を除く）を対象に、メンターを配置するよう、制度を改正した。配置先の教員には、あらかじめ個別にどのようなメンタリングを受けたいかの希望をヒアリングした。

平成 28 年度 配置状況

研究科・機構	メンティ登録数
工学	5
生命環境科学	2
理学系	2
経済学	1
人間社会システム科学	2
看護学	7
総合リハビリテーション学	3
合 計	22

(13) ダイバーシティ推進セミナー兼マネジメント・セミナーの開催

日 時 平成28年12月2日 15:00 - 17:00

場 所 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス 学術交流会館 (多目的ホール)

講 師 奥田浩美 (株式会社ウィズグループ代表取締役社長)

参加者数 38名

文部科学省 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業

研究力向上のためのスキルアップ支援プログラム
ダイバーシティ推進セミナー兼マネジメント・セミナー

「戦略的に生きていく — 未来を創る仕事のススメ」

スキルアップ支援プログラムを2回以上受講した女性教員の方は、平成29年度RESPECT(女性研究リーダー育成のための研究実践力強化支援プログラム)への応募資格を得られます。
※RESPECTについては、裏面参照。

起業家の奥田浩美さんから、組織という財産を活かして、戦略的に新しい価値を作り出す仕事・働き方についてお話していただきます。



講 師 **奥田 浩美** (株式会社 ウィズグループ代表取締役社長)

鹿児島生まれ。インド国立ボンベイ大学(現州立ムンバイ大学)大学院社会福祉課程修了。1991年にIT特化のカンファレンス事業を起業し、数多くのITプライベートショーの日本進出を支える。2001年に株式会社ウィズグループを設立。2008年よりスタートアップと呼ばれるITベンチャーの育成支援に乗り出し、スタートアップのエコシステムビルダーとしての活動を開始。2013年には徳島県の過疎地に「株式会社たからのやま」を創業し、地域の社会課題に対しITで何が出来るかを検証する事業を開始。地域と海外を繋ぎ、新しい事業を生み出す活動も行っている。
著書:『会社を辞めないという選択』(日経BP社)、『人生は見切り発車でうまくいく』(総合法令出版)、『ワクワクすることだけ、やればいい!』(PHP出版)

日 時 平成28年12月2日(金) 15時~17時

対 象 大阪府立大学の教職員・研究員・学生 (女性優先)

場 所

キャンパス名	部屋名	定員
中百舌鳥	C1棟 多目的ホール	180名
羽曳野	L305 会議室	15名(中継)
りんくう	A103 会議室	50名(中継)

**参加
無料**

<参加申込方法>

メールにて、受付します。定員になり次第、締め切ります。

件名に「ダイバーシティ推進セミナー希望」と書いて、①氏名、②所属研究科・機構・部署名、③職名・学年、④受講するキャンパス名、⑤日中連絡可能な電話番号(内線可)、をご記入の上、お申してください。

送付先 ダイバーシティ研究環境研究所 diversity@ao.osakafu-u.ac.jp.

TEL(072)254-9649 (内線 5056/ 平日9:30-17:00)

<主催>



大阪府立大学
ダイバーシティ
研究環境研究所

<共催>





真嶋由貴恵（ダイバーシティ研究環境研究所長）あいさつ

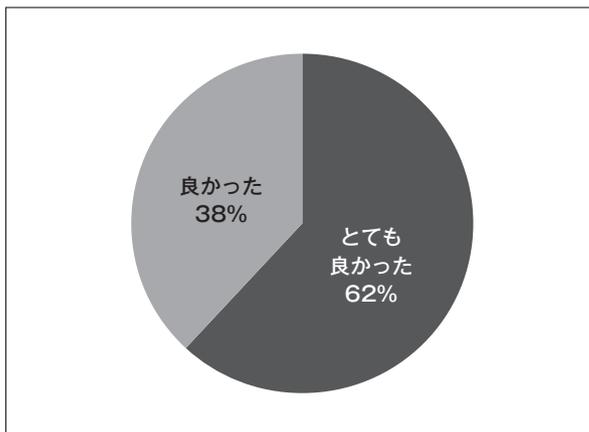


講師 奥田浩美社長（㈱ウイズグループ代表取締役）



ダイバーシティ推進セミナー兼マネジメント・セミナー

<参加者アンケート結果>



コメント

- 最初のご紹介にあった通り、確かに「元気」をいただきました。もっと多くの学生さんにも聞いてほしかったです。今後もこういう方に来て頂きたいです。
- 日頃解決していない問題がとても明確に整理できた。
- 90分、あっという間で、とても刺激になり、有意義でした。
- 今年一番の講演でした。本当によかった。

(14) ダイバーシティ研究環境研究所の広報活動

1) パンフレットの作成

学内外に本事業を紹介するため、パンフレット 4,000 部を作成した。

ダイバーシティ研究環境研究所の取組

ダイバーシティ研究環境研究所が行う支援事業

ダイバーシティ研究環境基盤整備

女性研究者支援センターが行っている支援事業 (ワーク・ライフ・バランス支援)

II スキルアップ支援プログラム

■ スキルアップ支援プログラムの目的と位置づけ 女性研究者を対象としたスキル向上に資するために行うプログラム(1クール1年半)、新規採用の若手女性研究者は必修。

1クール 1年半

2回以上参加して申請

公開審査会 (プレゼンテーション審査) → 採択 → RESPECT

※セミナーについて

- 「外部資金獲得セミナー」
 - 外部資金獲得のためのスキルアップ
- 「英語論文作成セミナー」
 - 研究成果を海外へ発信する力をつけること
- 「プレゼンテーション力向上セミナー」
 - プレゼンテーション力及び教育力の向上
- 「マネジメントセミナー」
 - 研究チームや研究室、部門を運営するマネジメント力のある上位職の養成

III RESPECT (研究実践力強化支援プログラム)

■ RESPECTの目的と位置づけ 女性研究リーダーの育成のため、スキルアップ支援プログラムの上位研修プログラムとして、RESPECTを実践します。

目的	女性研究者がリーダーシップを発揮し、研究グループを形成して研究活動を推進するために、インセンティブを付与し、研究の加速を支援します。
研究活動の区分	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究リーダーシップ……大学、企業、高等、公設試験研究機関など複数の教育研究機関の研究者が参加する共同研究グループ グローバルリーダーシップ……海外研究者(国内在住者含む)と連携を行う研究グループ 研究者育成リーダーシップ……博士課程(社会人含む)在籍、又は進学を目指す女子学生、女子社会人を含む研究グループ 地域連携リーダーシップ……特に大阪地域の大学、企業、高等、公設試験研究機関など複数の機関の研究者との共同研究グループ
インセンティブ	<ul style="list-style-type: none"> 研究支援員雇用、研究に関する経費(物品購入、英文校正費、国内旅費など)の支援 コーディネーターやURA(リサーチ・アシスタント)による各種マッチング支援、外部研究資金獲得支援 若手研究者(准教授以下)へのメンターの配属
採択後の実施事項	<ul style="list-style-type: none"> 研究内容に関する英文ホームページ開設、および英語でのプレゼンテーション(年1回)、自分の課題解決に必要なスキルアップ支援プログラムへの参加 採択後2年以内に、以下のいずれか1項目を実施すること <ul style="list-style-type: none"> A) 学会、講演会、セミナー等での発表 B) 論文、雑誌等への投稿 C) 外部研究資金申請 D) 特許出願 E) 企業等との共同・受託研究等契約 F) 記者発表・取材等

その他 ■ 異分野研究領域を融合した研究の促進 ■ 理系女子人材の発掘とキャリア支援 ■ 公立大学としての地域連携力の活用

2) ホームページの運営

昨年度に引き続き、本事業の内容と、その進捗状況や成果を紹介するため、ダイバーシティ研究環境研究所ホームページを運営した。事業の告知をウェブサイトで行う際にはメディアミックスによる相乗効果をねらい、学内外へのチラシ配布やポスター掲示、学内ポータルサイトへの掲載等も合わせて実施するようにしている。

ダイバーシティ研究環境研究所ホームページ URL <http://diversity.21c.osakafu-u.ac.jp/>

ダイバーシティ研究環境研究所 | 女性研究者が能力を最大限発揮できる研究環境の整備と研究力向上の支援、特にリーダー育成と上位職登用支援体制の確立をめざす。

アクセス | 大阪府立大学

大阪府立大学
ダイバーシティ研究環境研究所

サイト内検索 検索

HOME 支援事業 実施体制 挨拶

女性研究リーダーの育成
女性上位職の両立支援

支援事業

お知らせ

- 2016年度
- 2015年度

イベント報告

- 2016年度
- 2015年度

リンク

関連リンク

- 多様な人材活用推進の基本方針
- 女性研究者支援センター
- 大阪府立大学 リサーチアドミニストレーションセンター
- 研究費公募情報紹介
- JST ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業

お知らせ

- 第7回 生体分子科学シンポジウム (3月28日) 開催のご案内 2017年2月27日 4:01 PM
- 平成29年度 女性研究者 研究実践力強化支援プログラム (RESPECT) の募集について 2017年1月18日 5:24 PM
- マネジメント・セミナーのご案内 2016年12月13日 2:35 PM
- プレゼンテーション力向上セミナーのご案内 2016年11月14日 9:56 AM
- 平成29年度 研究支援員派遣申請募集について 2016年11月9日 10:35 AM

イベント報告

- スキルアップ支援プログラム「プレゼンテーション力向上セミナー」を開催しました 2017年1月25日 1:38 PM
- スキルアップ支援プログラム「マネジメントセミナー」を開催しました 2017年1月17日 1:48 PM
- 女性研究者・職員交流会を開催しました (大阪府立環境農林水産総合研究所) 2016年12月23日 2:41 PM
- スキルアップ支援プログラム「ダイバーシティ推進セミナー兼マネジメントセミナー」を開催しました 2016年12月3日 1:28 PM
- 女性研究者・職員交流会を開催しました (大阪府立公衆衛生研究所) 2016年10月21日 2:28 PM
- スキルアップ支援プログラム「英語論文作成セミナー」を開催しました 2016年9月24日 1:18 PM
- スキルアップ支援プログラム「外部資金獲得セミナー」を開催しました 2016年8月27日 1:03 PM
- 平成28年度 女性研究者 研究実践力強化支援プログラム (RESPECT) 審査会を開催しました 2016年6月2日 12:07 PM
- スキルアップ支援プログラム「マネジメントセミナー(羽曳野キャンパス)」を開催しました 2016年3月17日 4:09 PM
- スキルアップ支援プログラム「英語論文作成セミナー (羽曳野キャンパス)」を開催しました 2016年3月11日 11:36 AM

Copyright(c) Osaka Prefecture University. All Rights Reserved.

Ⅱ. スキルアップ支援プログラム

1. 事業一覧（時系列）

年	月 日	内 容
平成28年	8月9日	外部資金獲得セミナー開催
	8月9日・10日・26日	外部資金獲得セミナー・個別校閲開催
	9月23日	英語論文作成セミナー開催
	9月23日～1月31日	英語論文作成セミナー・個別英文校正実施
	12月2日	ダイバーシティ推進セミナー兼マネジメント・セミナー開催
平成29年	1月5日・6日・24日	プレゼンテーション力向上セミナー開催
	1月16日	マネジメント・セミナー開催
	2月15日	e-Learning開始
	2月23日・3月6日・9日	外部資金獲得セミナー・個別校閲開催

2. 事業ごとのまとめ

(1) スキルアップ支援プログラムの目的と位置づけ

女性研究者を対象としたスキル向上に資するため、1クール1年半で行う（下記表参照）。新規採用の若手女性研究者は必修とし、5期（平成32年度終了分）まで実施する予定。

平成28年度は1期目を実施し、2期目の募集と審査を行った。

	平成28年度（2年度目）		平成29年度（3年度目）
1期目	平成28年5月 RESPECT公開審査会	平成28年6月～平成29年3月 RESPECT実施	
2期目		平成28年7月～ 平成29年2月 スキルアップ・セミナー	平成29年3月 RESPECT公開審査会 平成29年5月～ 平成30年3月 RESPECT実施

(2) セミナーの実施

1) 外部資金獲得セミナー

科研費など外部資金獲得のためのスキルアップ・セミナーを開催し、希望者には研究計画書の個人校閲を実施した。また、個人校閲が好評だったため、今年度は時期をずらして2回実施した。

	開 催 日	開催キャンパス	参加人数
セミナー	平成28年8月9日	中百舌鳥 (羽曳野・りんくう中継)	26名
個人校閲	平成28年8月9日・10日・26日	中百舌鳥・羽曳野	12名
	平成29年2月23日・3月6日・9日	中百舌鳥・羽曳野	15名

研究力向上のためのスキルアップ支援プログラム

外部資金獲得セミナー

スキルアップ支援プログラムを2回以上受講した女性教員の方は、平成29年度RESPECT(研究実践力強化支援プログラム)への応募資格を得られます。

※RESPECTについては、裏面参照。

外部資金による研究費獲得のための
スキルアップを目指します。

日時 平成28年8月9日(火)9時~12時
対象 大阪府立大学の教員・博士研究員(女性優先)
場所

キャンパス名	部屋名	定員
中百舌鳥	C5棟 大会議室	40名
羽曳野	B201 講義室	134名(中継)
りんくう	第1講義室	50名(中継)

講師 中安 豪(ロバスト・ジャパン(株))

※参加者のうち、ご希望の方は研究計画書の個人指導を受けられます。

定員 20名(先着順)*セミナーと同時に申し込みください。

対象 女性の教員・博士研究員

実施日 下記の中で調整します。

日にち	時間	キャンパス名
8月 9日(火)	13:00~18:00	中百舌鳥
8月10日(水)	9:00~18:00	中百舌鳥
8月22日(月)	9:00~18:00	羽曳野
8月26日(金)	9:00~18:00	羽曳野

*上記と別日時にスカイプにて実施(日時は講師と調整します。)

内容 外部資金申請のための研究計画書の校閲(18枚以内)

方法 個別面談(1人1時間)と、研究計画調書のレビュー1回

<参加申込方法>

メールにて、受付します。セミナー・個人指導ともに、定員になり次第、締め切ります。

女性優先受付 平成28年6月20日(月)~7月 8日(金)

一般受付 平成28年7月11日(月)~先着順

件名に「外部資金セミナー希望」と書いて、①氏名、②所属研究科・機構名、③職位、
④受講するキャンパス名⑤個人指導の希望の有無、⑥日中連絡可能な電話番号をご記入の上、
diversity@ao.osakafu-u.ac.jp.まで、お申してください。

<主催> 大阪府立大学 ダイバーシティ研究環境研究所

中百舌鳥キャンパス(B16棟)

TEL(072)254-9649(内線 5056/ 平日9:30-17:00)

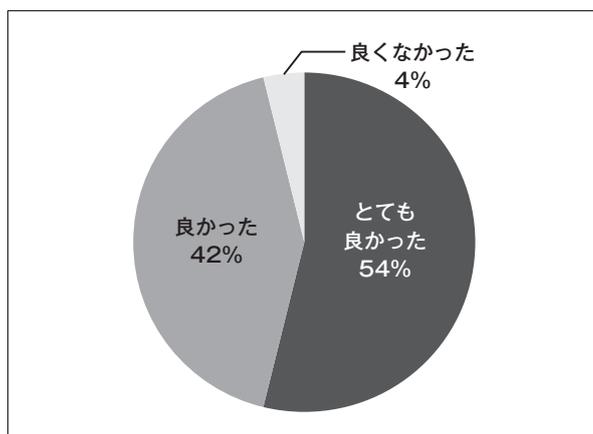


参加
無料



外部資金獲得セミナー

<参加者アンケート結果> (8月9日のセミナー参加者のみ)



コメント

- 単なる書き方のテクニック、ノウハウだけではなく、申請書作成以前のプレストの手順まで学べたのが良かったです。セミナーを聞いて、個別相談を開催すると効率的でよいと思いました。
- 男性も参加しやすいとよいと思います。プロの方の話を聞いてよかったです。
- 外部資金なら、看護の分野、自分の分野の講演があるとうれしいです。若手向けもあるとうれしいです。
- 学内他部局の方や「学内プロジェクト」とインタラクトする機会ができるとうれしいです。ダイバーシティ研が府大の「出会いの場」のひとつになってくれるとうれしいです。

2) 英語論文作成セミナー

研究成果を海外へ発信するための英語論文執筆のスキルアップ・セミナーを開催し、希望者には個別で英語論文の校正支援を実施した。

	開催日	開催キャンパス	参加人数
セミナー	①平成28年9月23日	中百舌鳥 (羽曳野・りんくう中継)	22名
英文校正	平成28年9月23日～平成29年1月31日	—	7名

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業

スキルアップ支援プログラム

英語論文 作成セミナー

スキルアップ支援プログラムを2回以上受講した女性教員の方は、平成29年度RESPECT(女性研究リーダー育成のための研究実践力強化支援プログラム)への応募資格を得られます。



研究成果を国際的に発信する力をつけるため、ジャーナルへの採用率を高めることを目標に解説します。

日時 平成28年9月23日(金)10時～12時
対象 大阪府立大学の教員・博士研究員(女性優先)
場所

キャンパス名	部屋名	定員
中百舌鳥	B3棟 107 小講義室	63名
羽曳野	B201 講義室	134名(中継)
りんくう	A103 会議室	50名(中継)

参加
無料

講師 内山 八郎(予定) ベルリッツ・ジャパン株式会社
使用言語 日本語

※参加者のうち、下記の対象の方は英語校正を受けられます。
定員 10名(先着順)※セミナーと同時に申し込みください。(原則、一人一回限り)
対象 女性の教員・博士研究員で、申込時に校正依頼予定原稿を提出できる方
期間 セミナー終了後～平成29年1月末
内容 英語論文等の校正(3,000wordsまで)
方法 セミナー当日にご案内します。
委託 エダングス グループ ジャパン株式会社

<参加申込方法>

メールにて、受付します。セミナー・英語校正ともに、定員になり次第、締め切ります。

女性優先受付 平成28年 7月11日(月)～7月29日(金)

一般受付 平成28年 8月1日(月)～先着順

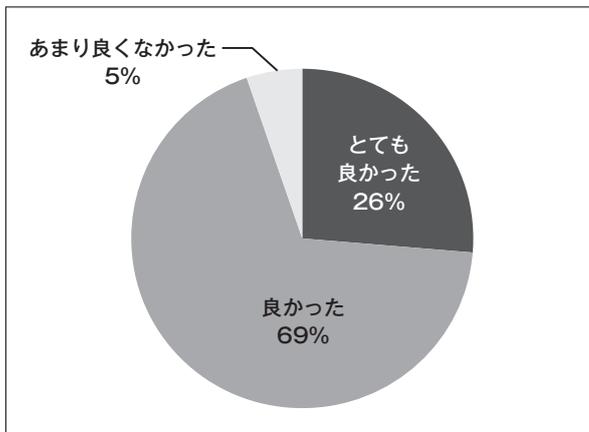
件名に「英語論文セミナー希望」と書いて、①氏名 ②所属研究科・機構名
③職位 ④受講するキャンパス名 ⑤英語校正の希望の有無(希望される方は校正予定原稿を添付して下さい) ⑥日中連絡可能な電話番号 をご記入の上、
diversity@ao.osakafu-u.ac.jp まで、お申込ください。

<主催> 大阪府立大学 ダイバーシティ研究環境研究所
中百舌鳥キャンパス(B16棟)
TEL(072)254-9649(内線 5056/平日9:30-17:00)



英語論文セミナー

<参加者アンケート結果> (9月23日のセミナー参加者のみ)



コメント

- とても勉強になりました。同じような内容で年に数回、こういう機会があると嬉しいです。あと、プレゼンテーション、学会発表の技術も知りたいです。ありがとうございました。
- (参加者の)バックグラウンドが色々だと思うので、同じテーマの講義が違う先生で何回かあると嬉しいです。
- 特に、理系論文は「シンプル」「簡単に」「誰が読んでも分かりやすく」を求められることが多いので、「難しい単語を避ける」傾向があると感じています。今回は、少し文系よりだったかもしれません。(講義内容そのものはとてもためになりました。)
- 自分には、まだレベルが高かったかと思われる。もう少し勉強してから来ます。
- 英語論文、国際学会発表(オーラル、ポスター)等に関して、今後も企画して頂けるとありがたいです。

3) プレゼンテーション力向上セミナー

学会などの研究発表や授業実施に欠かせないプレゼンテーション力の向上のためのスキルアップ・セミナーを開催した。

開催日	開催キャンパス	参加人数
平成29年1月5日・6日・24日	中百舌鳥・羽曳野・りんくう	20名

文部科学省 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業

研究力向上のためのスキルアップ支援プログラム

プレゼンテーション力向上セミナー

スキルアップ支援プログラムを2回以上受講した女性教員の方は、平成29年度RESPECT(女性研究リーダー育成のための研究実践力強化支援プログラム)への応募資格を得られます。

相手が理解しやすい話し方、より効果の高い英語プレゼンテーションの方法を、「伝える内容・技術・手段」の3要素を柱にして、講義とワークを通して身につけます。



日時・場所

日時	キャンパス名	部屋名	定員
1月5日(木) 13:30~16:30	中百舌鳥	B3棟 107 小講義室	20名
1月6日(金) 13:30~16:30	りんくう	第2 講義室	20名
1月24日(火) 13:30~16:30	羽曳野	A棟 301合同講義室	20名

対象 大阪府立大学の女性教員・研究員

講師 未定 (ベルリッツ・ジャパン株式会社)

使用言語 英語

<参加申込方法>

メールにて、受付します。定員になり次第、締め切ります。

件名に「プレゼン向上セミナー希望」と書いて、①氏名、②所属研究科・機構名、③職名、④受講するキャンパス名、⑤日中連絡可能な電話番号(内線可)、をご記入の上、お申込ください。

送付先 diversity@ao.osakafu-u.ac.jp.

<主催> 大阪府立大学 ダイバーシティ研究環境研究所

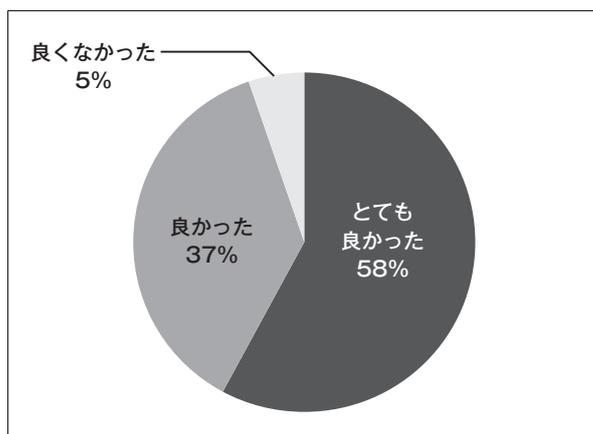
中百舌鳥キャンパス(B16棟)

TEL(072)254-9649 (内線 5056/ 平日9:30-17:00)



プレゼンテーション力向上セミナー「中百舌鳥キャンパス」

<参加者アンケート結果>



コメント

- ネイティブの先生と話ができる機会はとても良かったです。今後もこのような企画があれば参加したいです。
- 講師の能力が高く、楽しいセミナーだった。今回のような内容なら、開催頻度をもっと高くして月1回くらい行うべき。継続して行わないと力が付きにくい。
- 普段なかなか出会う機会のない府大の先生方の話しが聞けるのが楽しいです。参加型で話す時間、プレゼンもできてとてもよかったです。より進んで実際の発表内容、結果の見せ方のプレゼンもあればうれしいです。
- 参加者同士が交流できると次にお会いしたときに話しが出来そうでうれしいです。学内の女性研究者の交流がさらに進められるようなイベントもできれば良い気がした。
- 参加者は教員が多く、英語プレゼン経験者が多いようだったので、もう少し実践的な内容が良い。例えば事前にプレゼンの内容を提出し、それに対する改善点を教えてもらうなど。

4) マネジメントセミナー

研究チームや研究室・部局を運営するためのマネジメント力をつけるスキルアップ・セミナーを開催した。

開催日	開催キャンパス	参加人数
平成29年1月16日	中百舌鳥	8名

文部科学省 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業

研究力向上のためのスキルアップ支援プログラム

マネジメント・セミナー

スキルアップ支援プログラムを2回以上受講した女性教員の方は、平成29年度RESPECT(女性研究リーダー育成のための研究実践力強化支援プログラム)への応募資格を得られます。

自分自身のワーク・ライフ・バランスも大切にしながら、研究チームや研究室・部局を運営するためのマネジメント力アップを目指します。



**参加
無料**

日時 平成29年1月16日(月) 14:00~17:00
場所 中百舌鳥キャンパス B3棟 106会議室
対象・定員 大阪府立大学の女性教員・博士研究員 10名
講師 幸田 千栄子
(公益財団法人 日本生産性本部 経営コンサルタント)

<参加申込方法>

メールにて、受付します。定員になり次第、締め切ります。

件名に「マネジメント・セミナー希望」と書いて、①氏名、②所属研究科・機構名、③職位、④日中連絡可能な電話番号(内線可)、をご記入の上、お申込ください。

送付先 diversity@ao.osakafu-u.ac.jp.

<主催> 大阪府立大学 ダイバーシティ研究環境研究所

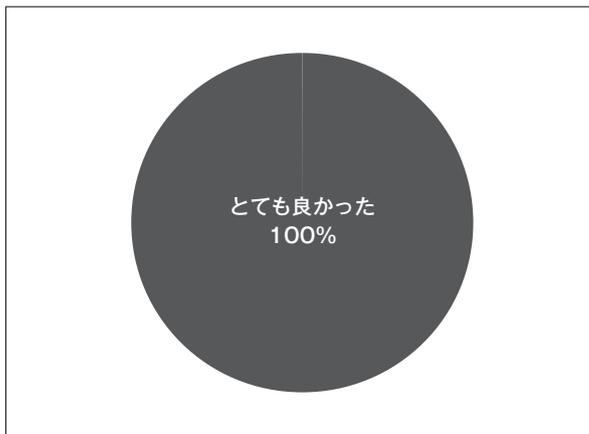
中百舌鳥キャンパス(B16棟)

TEL(072)254-9649(内線 5056/ 平日9:30-17:00)



マネジメントセミナー

<参加者アンケート結果>



コメント

- グループワークを通して、共通の課題を議論できてよかった。
- こういう機会を通じていろんな教員や職員と「対話」できるのが良いと思います。
- 部局を越えて意見交換し対話できたことが多くのリーダーシップの学びにつながったと思います。また、こういった機会があればいいと思います。
- 女性のみで意見交換できるのは良いが、男性も交えたらどういう話しになるのかが興味深いです。
- リーダーとしてすでに活躍されている先生方から直接アドバイスいただけてとても勉強になりました。ありがとうございます。

(3) e-Learning の活用

授業や実習などで、スキルアップ・セミナー当日に参加できない教員へのフォロー体制を整えるため、下記の講演・セミナーを e-Learning で受講できるようにした。動画作成および e-Learning システムについては、大阪府立大学 EDGE プログラム（以下、「Fledge」という。）の協力を得た。

< e-Learning 化した講演・セミナー >

- ダイバーシティ推進セミナー兼マネジメント・セミナー（12 / 2 開催）
- ダイバーシティ特別講演（12 / 8 開催）
- プレゼンテーション力向上セミナー（1 / 5 開催）

Ⅲ. RESPECT（研究実践力強化支援プログラム）

事業一覧（時系列）

年	月 日	内 容
平成28年	4月13日～28日	平成28年度 RESPECT募集
	5月9日	RESPECT審査会開催
	6月1日	RESPECT研究費支給開始
	7月1日	RESPECT研究費による研究支援員配置開始
	12月1日～2月28日	平成29年度 RESPECT募集
	3月30日	RESPECT審査会開催

1. 概要

(1) 目的

女性研究リーダーの育成のため、「Ⅱ. スキルアップ支援プログラム」の上位研修プログラムとして実施する。本学の女性研究者に競争的インセンティブとして各種支援を行うことによって、女性研究者が研究グループのリーダーとなる活動を促進することを目的とする。

(2) 応募対象者

以下の条件をすべて満たしている者。

- ①大阪府立大学の女性の専任教員（任期付教員を含む。）で、下記の区分に基づいた研究グループの研究代表者。
- ②平成27年12月～平成28年3月にダイバーシティ研究環境研究所が開催したスキルアップ・セミナーに、2回以上参加していること。

※今回採択された場合は、次回以降のRESPECTには申請できない。

2. 平成28年度（第1期）

(1) 募集

1) 研究費及び採択予定件数

下記のうち、申請者が当てはまる区分の中から1つを選択して申請する。

区 分	対 象	研 究 費	採 択 予 定 件 数
①復帰支援	ライフイベント中の女性研究者	平成25年4月1日から現在までに、ライフイベントのため概ね3ヶ月以上やむを得ず研究活動を中断した者	①と②の合計で2件程度
②ライフイベント*支援		上記以外	
③女性研究者支援	上記以外の女性研究者	最大100万円/件 <使用用途> 研究支援員の雇用、研究に関わる経費（物品購入、英文校正費、国内旅費など）	2件程度

※「ライフイベント」：妊娠・出産・育児（末子が小学6年生以下）と介護。

2) 研究期間

審査決定後から平成 29 年 3 月 31 日まで。

3) 申請の有資格者（スキルアップ・セミナーを 2 回以上受講した者）

24 名

(2) RESPECT 審査会（学内公開）

平成 28 年 5 月 9 日 16:15～17:55

中百舌鳥キャンパス（C 1 棟 学術交流会館・多目的ホール）

<プログラム>

16:15 - 16:20 石井実審査委員長（理事・副学長）あいさつ

16:20 - 17:50 申請者プレゼンテーション（6 件）

17:50 - 17:55 真嶋由貴恵 ダイバーシティ研究環境研究所長あいさつ



石井実審査委員長（理事・副学長）



審査委員



(3) 審査結果

●申請者6名（生命環境科学研究科1名・理学系研究科2名・看護学研究科3名）

申請区分	申請件数	採択件数	採 択 者
①復帰支援	0件	0件	
②ライフイベント支援	1件	1件	・大川聡子 准教授（看護学研究科）
③女性研究者支援	5件	2件	・幸田知子 助教（生命環境科学研究科） ・吉原静恵 助教（理学系研究科）



大川聡子准教授（看護学研究科）



幸田知子助教（生命環境科学研究科）



吉原静恵助教（理学系研究科）

3. 平成29年度（第2期）

(1) 募集

1) 研究費及び採択予定件数

下記のうち、申請者が当てはまる区分の中から1つを選択して申請する。

区 分	対 象	研 究 費	採択予定件数
①復帰支援	ライフイベント中の女性研究者 平成26年4月1日から現在までに、ライフイベントのため概ね3ヶ月以上やむを得ず研究活動を中断した者	最大200万円/件 ＜使用用途＞ 研究支援員の雇用、研究に関わる経費（物品購入、英文校正費、国内旅費など）	2件程度
②女性研究者支援	上記以外の女性研究者	最大100万円/件 ＜使用用途＞ 研究支援員の雇用、研究に関わる経費（物品購入、英文校正費、国内旅費など）	2件程度

2) 研究期間

審査決定後から平成30年3月31日まで。

3) 申請の有資格者数

19名

(2) RESPECT 審査会（学内公開）

平成29年3月30日 13:30～15:50

中百舌鳥キャンパス（B3棟 117講義室）

＜プログラム＞

13:30－13:35 石井実 理事・副学長あいさつ

13:35－15:45 申請者プレゼンテーション（8件）

15:45－15:50 真嶋由貴恵 ダイバーシティ研究環境研究所長あいさつ

そ の 他

1. 事業一覧（時系列）

年	月 日	内 容
平成28年	4月1日	・ダイバーシティ研究環境研究所コーディネーターを週1日、博士研究員として雇用
	5月24日	大阪大学男女協働推進センター設立記念シンポジウムに参加
	6月9日	IRIS・OGの黒田助教を講師に招き、IRISを対象とする企画実施講習会を開催
	7月8日	大阪大学女性職員キャリアデザインセミナーに参加
	7月15日	FledgeとAsia Live Stream!を共催
	8月17日	FledgeとSilicon Valley Classを共催
	9月13日	OSAKA女性活躍推進月間シンポジウムに参加
	9月21日	岩手大学と情報交換
	9月26日	大阪府立大学「Financial Report 2016」にて事業紹介
	10月8日	第14回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムに参加
	10月16日～23日	Fledgeの海外アントレプレナー研修に女性教員が参加
	10月18日	宇都宮大学と情報交換
	10月20日	Fledgeとキャリアパス支援講義を共催
	10月20日	女性研究者交流会（大阪府立公衆衛生研究所）
	11月10日	琉球大学と情報交換
	11月11日	第8回九州・沖縄アイランド女性研究者支援（Q-wea）シンポジウム in 沖縄に参加
	11月18日	四国5大学連携女性研究者活躍推進シンポジウム2016に参加
	12月1日	Q-weaスペシャル・ミーティングに参加
	12月1日	文部科学省科学技術人材育成費補助事業シンポジウムに参加
	12月6日	宮崎大学と情報交換
12月22日	女性研究者交流会（大阪府立環境農林水産総合研究所）	
平成29年	1月13日	大阪府 男女共同参画推進事業 講演会に参加
	1月29日	東北大学 男女共同参画シンポジウムに参加
	1月30日	ダイバーシティ（牽引型）キックオフ・シンポジウムに参加
	2月3日	ダイバーシティ・マネジメント・セミナーに参加
	2月6日	大阪市立大学ダイバーシティ推進シンポジウムに参加
	2月13日	・新潟大学と情報交換 ・新潟大学ダイバーシティ・シンポジウムに参加
	2月20日	大阪大学シンポジウムに参加
	2月22日	FledgeとSilicon Valley Classを共催
	2月23日	群馬大学と情報交換
	2月24日	一ツ橋大学と情報交換
	3月17日	IRIS活動報告会にてIRIS・OGが講演
	3月22日	学内・女性研究者交流会（羽曳野キャンパス）

2. 事業ごとのまとめ

(1) 異分野研究領域を融合した研究の促進

1) アントレプレナーシップ（文部科学省：科学技術駆動型イノベーション創出プレイヤー養成プログラム（Fledge））との連携

- 下記の通り、積極的に連携した。

年	月 日	内 容	参加者数
平成28年	7月15日	Asia Live Stream!を共催	12名
	8月17日	Silicon Valley Classを共催	35名
	10月16日～23日	海外アントレプレナー研修（米国・ブラウン大学にて）	女性教員 1名
	10月20日	キャリアパス支援講義を共催	22名
平成29年	2月22日	Silicon Valley Classを共催	16名

- スキルアップ・セミナーの動画作成および e-Learning システムについて、Fledge 事務局の協力を得た（再掲）。

2) 学内インセンティブ制度の採択者への研究支援員の配置

本学教員の科研費獲得支援として実施している学内インセンティブ制度のうち「大阪府立大学異分野研究シーズ発掘・連携促進・融合領域創成支援事業」において、女性が代表者の場合に研究とライフイベントを両立させるためのインセンティブとして研究支援員の配置を予定していたが、採択者の中にライフイベント要件のある女性教員がいなかったため、配置できなかった。

(2) 理系女子人材の発掘とキャリア支援

1) 大阪府立大学校友会（同窓会）のメーリングリストを通して、理系女性卒業生にダイバーシティ研究環境研究所の設立を周知し、学位取得など、研究者としてのキャリア支援や交流を呼びかけた。また、そのための相談窓口はダイバーシティ URA 担当とした。

2) 理系女子院生チーム IRIS の OG 人材とのネットワークを活用して、下記のとおり、現役の IRIS や本学教員・大学院生などとの交流を行った。

年	月 日	内 容
平成28年	6月9日	IRIS・OGの黒田助教を講師に招き、IRISを対象とする企画実施講習会を開催
	12月22日	女性研究者交流会（大阪府立環境農林水産総合研究所にて）：25名（うち、IRIS・OG 2名及び本学OG 1名も参加）
平成29年	3月17日	IRIS活動報告会にてIRIS・OGが講演

(3) 公立大学としての地域連携力の活用：女性研究者交流会の開催

大阪府立研究所の女性研究者・技術者と、本学の女性教員との交流会を開催した。

相手先	月 日	開催場所	参加者数
1) 大阪府立公衆衛生研究所	平成28年10月20日	大阪府立公衆衛生研究所（大阪市）	15名
2) 大阪府立環境農林水産総合研究所	平成28年12月22日	大阪府立環境農林水産総合研究所（羽曳野市）	25名



「女性研究者交流会（公衛研）グループワーク」



「女性研究者交流会（環農水研）グループワーク」



「女性研究者交流会（公衛研）」

（４）他機関との情報交換

年	月 日	相手機関	実施場所	主な内容
平成28年	9月21日	岩手大学	大阪府立大学	学内保育施設について
	10月18日	宇都宮大学	大阪府立大学	研究支援事業について
	11月10日	琉球大学	琉球大学（沖縄）	研究支援事業について
	12月6日	宮崎大学	大阪府立大学	研究支援事業について
平成29年	2月13日	新潟大学	新潟大学（新潟）	研究支援事業について
	2月23日	群馬大学	群馬大学（群馬）	学内研究者ネットワークの構築について
	2月24日	一ツ橋大学	一ツ橋大学（東京）	メンター制度の活性化について

(5) 他機関主催のセミナー等への参加

年	月 日	セミナー・シンポジウム名	主 催
平成28年	5月24日	大阪大学 男女協働推進センター設立記念シンポジウム	大阪大学
	7月8日	大阪大学 女性職員キャリアデザインセミナー	大阪大学
	9月13日	OSAKA女性活躍推進月間シンポジウム	大阪府
	10月8日	第14回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム「国際的にみて日本の研究者における女性割合はなぜ伸びないのか？」	男女共同参画学協会連絡会
	11月11日	第8回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 沖縄「九州・沖縄の国際化と女性研究者の役割」	琉球大学・沖縄科学技術大学院大学 (共催：九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク (Q-wea))
	11月18日	四国5大学連携女性研究者活躍推進シンポジウム2016	四国5大学男女共同参画推進連絡協議会 (徳島大学・鳴門教育大学・香川大学・愛媛大学・高知大学)
	12月1日	Q-weaスペシャル・ミーティング	九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク (Q-wea)
12月1日	文部科学省科学技術人材育成費補助事業シンポジウム「博士人材の社会の多様な場での活躍促進」	文部科学省	
平成29年	1月13日	大阪府 男女共同参画推進事業 講演会『『不思議の国』の女性活躍推進 ワーク・ライフ・アンバランスな国、日本』	大阪府
	1月29日	東北大学 男女共同参画シンポジウム「男性性を問う」	東北大学
	1月30日	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (牽引型) キックオフ・シンポジウム「コミュニケーション・フロンティア 女性研究者が切り拓く豊かなコミュニケーション社会」	電気通信大学・津田塾大学・NTT先端技術総合研究所
	2月3日	ダイバーシティ・マネジメント・セミナー「ダイバーシティ時代における企業の戦略」	日本経済団体連合会・内閣府
	2月6日	大阪市立大学ダイバーシティ推進シンポジウム「グローバル化時代の女性の活躍推進 ～上位職登用の取り組み～」	大阪市立大学
	2月13日	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ・シンポジウム「経営戦略としてのダイバーシティ マネジメント改革に向けて」	新潟大学・タケショー
	2月20日	大阪大学シンポジウム「共創の好循環へー女性が輝く関西をめざして」	大阪大学

(6) コーディネーターのキャリアパスへの配慮

ダイバーシティ研究環境研究所のコーディネーターを、博士研究員として自主経費で雇用した (週1日)。

大阪府立大学 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業

平成28年度 事業報告書

平成29年3月発行

発行 大阪府立大学 21世紀科学研究機構 ダイバーシティ研究環境研究所
連絡先 〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1-1
大阪府立大学中百舌鳥キャンパス B16 棟
TEL (072) 254-9649
E-mail diversity@ao.osakafu-u.ac.jp
URL <http://diversity.21c.osakafu-u.ac.jp>



大阪府立大学

ダイバーシティ研究環境研究所

Research Center for the Diversity Research Environment